社協シンボルマーク

ふれあいネットワーク

曽於市社会福祉協議会情報紙

第64号

平成30年７月13日

手と手

やさしさ100パーセント

表紙絵「夏の朝」

「ある夏の日の朝、「きゅうりがなっているヨ」とトンボが教えてくれました。その様子が、とってもかわいらしく思えて描きました。月に2回、淡彩画サークルで無心に絵を描く時間は、とても良い時間です。」

大隅淡彩画サークルT・T

主な内容

平成29年度事業報告及び決算…… P２
福祉バス運行事業…… P４
第14回曽於市社会福祉大会のお知らせ …… P６
サロンで地域いきいき…… P７
ふれあい・いきいきサロン合同連絡会
サマーボランティア体験活動…… P８
曽於市地域包括支援センターより
平成30年度赤十字会員増強運動実績
心配ごと相談及び弁護士相談開設予定…… P９
職員募集のお知らせ
寄付金品等報告…… P10

理念 人と人との
つながりを大切に
地域と共に歩む

発行／社会福祉法人　曽於市社会福祉協議会
曽於市財部町南俣504番地１（財部保健福祉センター内）
TEL:0986-72-0460・0480　FAX:0986-72-0425
E-mail:sohokubu-shakyo@dream.ocn.ne.jp

情報紙「手と手」は、本会のホームページでもご覧になれます。
URL:http://soo-shakyo.or.jp/

この情報紙は、地域住民の皆様からの社会福祉協議会費を財源に発行しています。

平成29年度事業報告

本年度も社会福祉法第109条に基づき、住民の方々、法人、関係団体等の参画を得、地域福祉の推進を図ることを使命として「自主性」と「公共性」という二つの側面を活かしながら、信頼され必要とされる社会福祉協議会を目指し、年度計画に基づいて各種事業に取り組みました。

総務関係

・社会福祉法人制度改革に伴う、社会福祉充実計画の実践

「職員処遇改善」、「福祉バス運行事業」の体制整備、「職員育成事業」を実施しました。

・第13回曽於市社会福祉大会の開催

多くの関係者・地域住民との連携が図られ、地域福祉に対する理解と関心が高まったと思われます。

・7月に発生した九州北部豪雨災害支援

「九州ブロック災害時相互応援協定」に基づき4名の職員を被災地の災害ボランティアセンターへ派遣しました。

・職員の計画的育成と人事の効果的な運用

「職員キャリアパス基準」の導入や人材育成マニュアルによる研修を実施しました。

福祉事業関係

介護保険事業において総体的に実績が減少し、介護保険事業収益は、前年度と比較すると約3,850万円の減益となりました。

・訪問入浴介護事業所

末吉から財部へ拠点を移し、訪問介護事業と一体的経営に転換したことにより、訪問入浴回数は増加しました。

・小規模多機能型居宅介護事業

登録者数は減少したものの安定した事業実績となり、各種加算の取得やサービスの質の向上及び経営の安定化に取り組みました。

・通所介護事業及び訪問介護事業

介護予防・日常生活支援総合事業が開始されたことに伴い、これまでより低単価で設定された基準緩和型サービスへの転換が進められました。

・訪問給食サービス事業（市受託事業）

例年どおり定期的な見守りが継続的に行うことができました。

地域福祉事業関係

・誰もが安心してその人らしく暮らせる地域づくりの構築

校区社会福祉協議会活動を中心に、身近な生活圏域での見守り・ささえあい活動等の充実を図りました。住民、企業を含め様々な団体と連携・協働し、社会福祉協議会の使命である地域福祉の中核的な役割を果たすことができました。

・曽於市社会福祉協議会権利擁護センターの開所

判断能力が不十分な方でも地域で暮らし続けられるように、これまで培ってきたネットワークを生かし、「曽於市社会福祉協議会権利擁護センター」を開所し、法人として成年後見業務に取り組む体制を構築しました。

・赤い羽根共同募金助成事業及び歳末たすけあい募金助成事業

「ささえあいネットワーク事業」をはじめとする各種事業を実施し、「じぶんの町を良くするしくみ。」の実践につながりました。

また、歳末たすけあい募金助成では障がい者世帯の在宅生活を環境面から支援する「お掃除サポート事業」も実施しました。

・転倒予防教室事業（一般介護予防事業）の支援

新たに市から一般介護予防事業として受託し、開設までの体制づくり等支援し、介護予防、引きこもり防止、安否確認等を行い、地域福祉の拡充につながりました。

・福祉サービス利用支援事業や無料相談窓口の開設事業

・低所得・生活困窮世帯への支援　　など

地域の皆様をはじめ、行政、各種団体、関係機関のご支援ご協力によって所期の目標を達成しました。

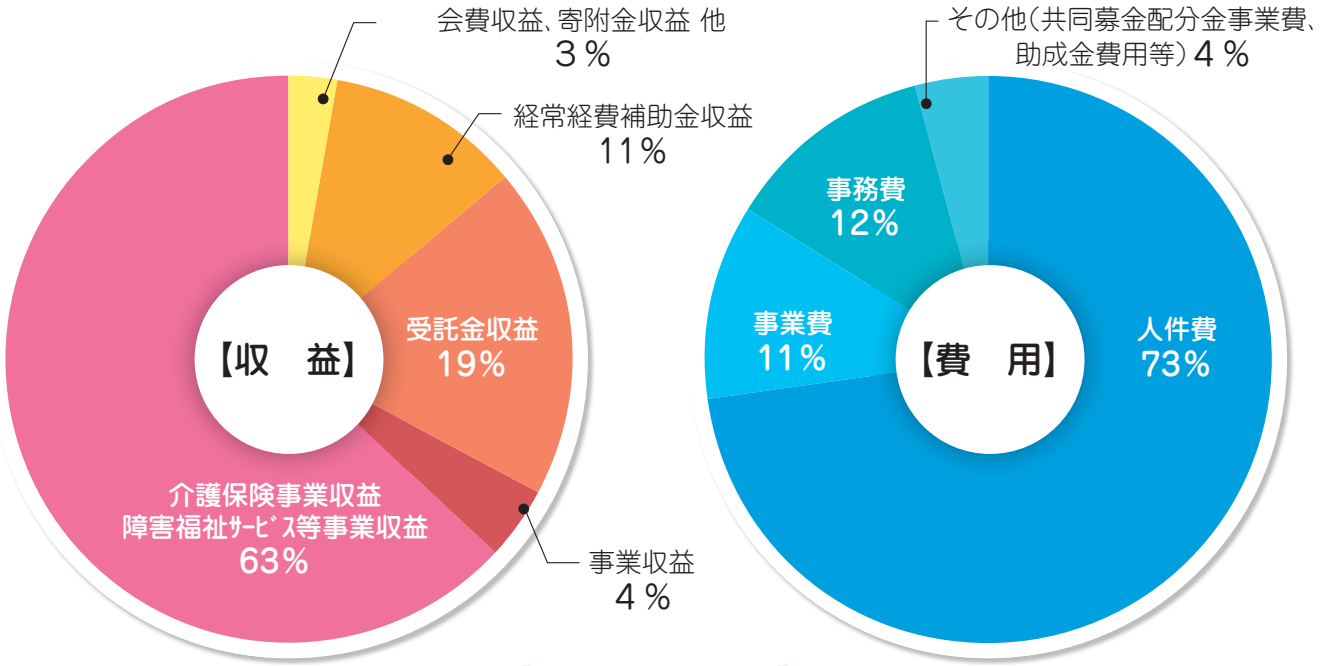
第13回曽於市社会福祉大会

曽於市社会福祉協議会権利擁護センター開所

平成29年度決算

【 事業活動計算書 】

事業区分	収益額	費用額	当期活動増減差額	前期繰越活動増減差額	積立金取崩額	積立金積立額	次期繰越活動増減差額
社会福祉事業	394,028,908	421,529,401	▲27,500,493	293,543,610	55,852,000	2,787	321,892,330
収益事業	42,387,612	41,173,896	1,213,716	▲5,599,600	0	0	▲4,385,884
内部取引消去	▲2,394,047	▲2,394,047	—	—	—	—	—
合　計	434,022,473	460,309,250	▲26,286,777	287,944,010	55,852,000	2,787	317,506,446



【 貸借対照表 】

勘定科目	社会福祉事業	収益事業	内部取引消去	合　計
流動資産	353,173,253	7,151,571	▲9,391,668	350,933,156
固定資産	835,920,518	431,761	▲1,257,970	835,094,309
【資産の部合計】	1,189,093,771	7,583,332	▲10,649,638	1,186,027,465
流動負債	47,821,290	10,354,966	▲9,391,668	48,784,588
固定負債	107,800,530	1,614,250	▲1,257,970	108,156,810
【負債の部合計】	155,621,820	11,969,216	▲10,649,638	156,941,398
基本金	400,000	0	—	400,000
国庫補助金特別積立金	6,247,758	0	—	6,247,758
その他の積立金	704,931,863	0	—	704,931,863
次期繰越活動増減差額	321,892,330	▲4,385,884	—	317,506,446
【純資産の部合計】	1,033,471,951	▲4,385,884	—	1,029,086,067
【負債及び純資産の部合計】	1,189,093,771	7,583,332	▲10,649,638	1,186,027,465

私たち「水ノ手サロン」では、５月中旬、曽於市社協の福祉バスを利用し、日本赤十字社鹿児島県支部で研修を行いました。献血や災害救護活動など「日本赤十字社」はなじみの深い言葉です。その前身は西南戦争の薩摩軍・官軍の多数の負傷者を敵味方問わず救護するために誕生した「博愛社」にあり、今年で発足 140 年目にあたるとのことでした。

災害時の救護・救援活動などの財源のほとんどは、私たち個人・団体の寄付金によって賄われているとのことです。

福祉の充実には、「自助」「共助」「公助」の三位一体となった活動は重要ですが、「日本赤十字社」は「人道・博愛」の精神を基本に、お互いが助けあう「共助」の面で大きな役割を果たしていることが分かりました。それは、「日本赤十字社」の災害等に備えた訓練・研修、「赤十字奉仕団」の結成など住民参加の活躍が多岐にわたっていることにうかがえます。過疎化・高齢化でお互いが手を携え、助け合うことが重要になっています。赤十字への理解・参加は「共助」のみならず「自助」意識の高まりにもつながるのではないでしょうか。今回の研修参加者は 14 名。車中の語らい、食事や大河ドラマ館の見学で気晴らしや地域の絆を深める一助になったのではと思います。

最後に今回の研修でお忙しい中懇切丁寧にご指導いただきました日本赤十字社の職員の方々に厚くお礼申し上げます。

水ノ手サロン　松下　成人

西郷隆盛が薩摩軍を率いた西南戦争で「人道」の理念から、敵味方なく負傷救護を行うために「日本赤十字社」は誕生した。

「日本赤十字社」は、現在でも国際的な人道救護活動を行っている。

今回、その意義を学ぶことと啓発啓蒙活動の一環で赤十字運動月間に福祉バスでの社会福祉研修、会員相互のふれあいで利用をさせていただきました。

日赤では、この瞬間もこれからも命を守るために活動をしています。見学させていただいた施設では、会員から寄せられた会費で、被災された方々に迅速に毛布や緊急セットなどの救援物資を届けられるよう備蓄をされていました。善意が人道的な活動に役立っていると皆感動していました。

日赤での研修後、屋台村で昼食をとり NHK 西郷どんドラマ館や維新ふるさと館、そして、西郷隆盛の生誕地である鍛冶屋町の散策を行いました。郷中教育や幕末の戊辰戦争、生涯の師「斉彬」との出会いと別れ、多感な青年期を経て３度の結婚、２度の島流し、全ての民が幸せにと「人を愛し。故郷を愛し。国を愛し。民を愛し。…」見返りを求めない男。桜島の似合う男の激動の生涯に触れ、参加者全員が「もう一度来たい。毎年研修に参加したい」と口にされました。そんな皆の笑顔の為に、また研修を計画したいと思います。

車中では、西郷どんのクイズもあり楽しく過ごしました。今回の参加者には要介護者の方や車いすで参加された方もいましたが、皆の思いやりと細かな心遣い、助けあいで喜ばれていました。

明治維新 150 年の節目に先人たちに学ぶ機会ができ、すばらしい研修となりました。

最後に、南洲墓地で西南の役、約 600 名の御霊に参拝し、西郷どんに参加者全員 26 名で手を合わせました。振り返ると桜島がとても大きく見えて綺麗でした。

水ノ久保いきいきサロン会　小松　孝雄

私たち「ゆうかりクラブ」は毎月１回定例会を開催して、親睦を図っています。

５月 22 日に市内の老人福祉施設の研修を行いました。会員 22 名、うちスタッフ４名で運営しており、車に分乗して行くことを考えていましたが、「福祉バス」が利用できることを知り、申請したところ許可をいただきました。

会員の年齢も平均年齢 86 歳と高く、乗用車での移動となると、いろいろと不安もありました。交通事故、体調不良等への対応、点呼等等…。

バス1台で全員がまとまって移動できたため、点呼等も容易で安心できました。車内では「雑談」にも花が咲き、皆さんは久しぶりにバスに乗れ、研修でも行楽気分でした。

運転手の方にはやさしい運転をしていただき、何よりも安心して施設研修ができ、会員皆さんに喜んでいただき良かったです。燃料代だけで利用できるため、負担も少なく「福祉バス」を利用して今後も研修等をしたいと思っています。

ゆうかりクラブ　代表者　中村　三十美

＜社会福祉充実計画に基づく＞

【福祉バス運行事業】福祉バスの運行が始まりました！

「福祉バス運行事業」は、社会福祉法人制度改革に伴う本会の「社会福祉充実計画」に基づき、曽於市の福祉活動の増進を図るため、福祉団体やボランティア団体等の研修や買い物支援事業にマイクロバスを運行するものです。5月10日に1回目の運行を迎え、この日利用された「駅前サロン」の皆さんと出発式を行いました。

利用された団体より

5月は、駅前サロンの他に4団体が利用されました。

私共の「駅前サロン」体操教室は、福祉バス利用の開始の案内を受け、早速一日研修を企画して申し込みましたところ、利用者第1号だということで皆さん大喜びでした。出発式の後、姶良市の鹿児島県防災研修センターで研修し、万一の災害時の避難用具の必要性や防災の心構え等を指導員のユーモアたっぷりの会話に爆笑しながらも大いに勉強させていただき、災害の恐ろしさを体験できました。

次に牧園町の和気神社の藤棚や霧島神宮を参拝して楽しい一日研修はあっという間に過ぎました。日頃はお一人暮らしで地区に家族のいない方も多く、ドライブを久しぶりに満喫できたと喜ばれました。バスの中で、なぞなぞゲームや面白い替え歌を全員で歌って、お腹がよじれる程に笑い転げ、体操教室そのままの和気あいあいの雰囲気で、皆さんとの絆を深めることができたすばらしい研修となりました。福祉バス運行の実施に本当に感謝しております。　駅前サロン　代表　田口　淑子

この度、福祉バスを利用させていただき誠にありがとうございました。

福祉バスを利用させていただいたおかげで、専門職の方が付いて行っていただき、安心して研修ができました。私たち「あさひ会」は今年で4年目を迎えています。会員22名、スタッフ9名で平均年齢82歳、出席率90%、週一回木曜日に集合し、「自分たちの健康は自分で守る」をスローガンに明るく楽しく元気よく、会員スタッフの知恵を絞り、出し合いながら活動しています。専門職の方々による脳・身体・食などについての学習などもしており、その中でも一番に楽しみにしているのが研修旅行です。

防災センターに行き、災害に関する講習を受けたり、NHKの放送の仕組みを知ったり、県民交流センターでの介護用具について学んだり、色々な知識を得ることができるのも集会に参加できているからだと思います。また来年の研修を楽しみに会員の皆様が自分の健康に気を付け、努力してくださることを約束して今年の研修を終えることができました。来年も福祉バスを利用させていただきたいと思います。

職員の皆様には運転から皆への気遣いまで大変と思いますが、私達のためにお力をお貸しくださるようお願いします。安心して研修ができたことに感謝いたします。誠にありがとうございました。

ミニデイあさひ会　代表　牧之瀬　浩子

第14回 曽於市社会福祉大会

平成30年 8月26日(日)

9:00～(開場8:30～)
末吉総合センター

住民流福祉総合研究所所長
木原 孝久氏による講演

○福祉ポスター展示
○福祉団体・施設等によるバザー
○医療・保健・福祉団体等紹介コーナー
○共同募金・日本赤十字社啓発コーナー
○ペットボトルのキャップ回収
○託児所有

駐車場
・末吉総合センター駐車場
・末吉ふれあい広場(旧老人福祉センター跡地)横駐車場
※末吉総合センター～ふれあい広場間送迎車輌有

主催:社会福祉法人曽於市社会福祉協議会

お問い合せ:TEL/0986-72-0460 FAX/0986-72-0425

共催:曽於市

後援:曽於市民生委員児童委員協議会連合会
曽於市長寿クラブ連合会
曽於市母子寡婦福祉連絡協議会
曽於市手をつなぐ育成会
曽於市共同募金委員会
日本赤十字社鹿児島県支部曽於市地区
曽於市教育委員会
曽於市PTA連絡協議会
曽於市校区・地区公民館長連絡協議会
そお鹿児島農業協同組合
曽於市商工会
曽於市森林組合
曽於農業共済組合
鹿児島県建設業協会曽於支部

サロンで地域いきいき

サロンほほえみ会
代表　末吉　いく子

市の地域支援事業が28年度でなくなり、「これがなくなったらあたい達はどこも行く所がないがね。だから、月1回でもいいので続けて欲しい。」との声が上がり発足しました。色々と場所を検討したところ、公民館長さんが快く檍地区青少年館を貸してくださることになり2年が過ぎました。最初は月2回でしたが、週1回の要望があり、昨年1月から毎週火曜日午前中に行っています。運動はもちろんのこと、計算、間違い探し、本読み、色ぬり、工作などもしたいとの声があり活動しています。最初は10名でしたが、今では仲間も増えて、遠くは大隅からの参加もあり、15名になりました。

工作は、トイレットペーパーの芯を使って、なべ敷としても使える壁飾りや鯉のぼり、青少年館の裏から笹を取って来て七夕飾りやお月見うさぎも作りました。また、荷造りの紐と100円の下敷きでラダーを作ったり、ひょうたんで輪投げ台を、新聞紙で輪を作り使っています。また、5回目の参加になる敬老会が、今年は檍小学校の学習発表会も一緒ということで、みんなハッスルしております。

ふれあい・いきいきサロン合同連絡会

6月13日、末吉総合センターにてふれあい・いきいきサロン合同連絡会を開催しました。曽於市内の各地域からサロン代表の方など100名ほどの参加をいただきました。

メインとなる研修は、鹿児島県健康づくり運動指導者協議会会長の柳田豊氏による「足腰げんき教室」。足腰の筋力維持や脳の活性化につながる運動などについて、納得して取り組めるようなお話をいただきました。参加者の方々は、熱心に聴き入ったり、笑ったり、色んな表情をされていました。今後のサロン活動で取り組んでみようとの声も聞かれ広がりが期待されます。

サロンは地域の方に開かれたふれあいの場です。各地域でそれぞれの個性や特色を生かして住民主体で活動され、高齢者の方などの生きがい作り、心身の健康にもつながっています。曽於市社会福祉協議会では、今後ますますこのようなサロン活動が活発に行われるよう、支援して参ります。

サマーボランティア体験活動2018

今年のサマボラは、これまで行っていた施設体験型の内容を大幅に見直し、地域全員で取り組むプログラムにしました。

「地域で守る命の講座」

台風、豪雨、地震等災害が発生し、いつもの日常生活が送れなくなった時、周りの人とどのように助け合っていけばよいのでしょうか。また、地域にはどのようなボランティア団体があり、どんな活動をしているのでしょうか。

ねらい

①地域の人と顔見知りになる（赤ちゃんから高齢者の皆さん）
②危険箇所を把握し行動に移せる
③一人ひとりができることを理解し、役割が持てる
④ボランティア活動に興味を持ち、自ら行動に移せる

内　容

「日本赤十字社鹿児島県支部による講話」「歩いてみよう（地域実態把握）」「非常炊き出し体験」など

参加対象者

地域の皆さん（開催地区が決まり次第、改めて御案内します）

福祉ボランティア団体のスキルアップ講座

ねらい　福祉ボランティア団体の専門性の向上を図り、実践力を高めます。

内　　容
傾聴ボランティア　スキルアップ講座
手話ボランティア　スキルアップ講座

ボランティア団体向けの講座ですが、中学生、高校生を含む初参加の方も歓迎します。

地域包括支援センターより

地域包括支援センターは、高齢者に関する健康、介護、住環境など生活全般に関する相談を受け付けており、毎日いろいろな相談が寄せられています。

たとえば・・・

- 介護サービスを利用したいのですが、どうすればいいでしょうか？
- 骨折して入院していますが、そろそろ退院になりそうです。自宅は段差が高く、退院後の生活に不安があります。手すりをつけるにはどうすればいいでしょうか？
- 最近は母親の物忘れがひどくなっているみたいです。病院に連れて行きたいけど、どんな病院に行けばいいでしょうか？
- 父親が一人で暮らしています。最近元気がないみたいなのですが、子どもはみんな遠方に住んでいるので心配です。何か見守ってもらえる方法はありますか？

相談者は、ご本人、ご家族、民生委員、医療関係者など様々です。社会福祉士、主任介護支援専門員、保健師等が高齢者のあらゆる相談に対応します。お困りごとなどありましたら下記へご相談ください。

曽於市地域包括支援センター
住　所：曽於市末吉町二之方2342番地2（そお生きいき健康センター内）
電　話：0986-76-8824　FAX：0986-28-8140

平成30年度赤十字会員増強運動実績（平成30年5月31日現在）

本年度も赤十字会員増強運動に多くのご協力をいただき心より感謝申し上げます。

曽於市地区			
財部分区	末吉分区	大隅分区	5,230,500円
1,415,000円	2,377,500円	1,438,000円	

心配ごと相談所開設のお知らせ

と　き　毎月第２・第４木曜日（平成30年４月から）９：30～12：00
ところ　【財部】財部保健福祉センター　【末吉】末吉中央公民館　【大隅】大隅中央公民館

開設日	7月26日	8月9日	8月23日	9月13日	9月27日
財　部	児玉・柳田	鎌原・棚木原	上村・橋本	児玉・棚木原	柳田・橋本
末　吉	田代・竹石	吉田・田代	山内・羽嶋	田代・羽嶋	竹石・羽嶋
大　隅	山口・上門	上門・佐伯	鮫島・大村	山口・佐伯	佐伯・大村

ひとりで悩まないで 弁護士による無料福祉相談窓口

ひまわりの会による無料法律相談

○相談日時及び会場：

会場	財部保健福祉センター	そお生きいき健康センター	大隅弥五郎伝説の里
相談日時	7月19日 13:00～16:00	8月16日 13:00～16:00	9月20日 13:00～16:00

○相談料：**無料**です。（相談者からはいただいておりません）※１回につき相談時間は30分以内
○申込・受付方法：**事前に予約が必要です。**
ひまわりの会　事務局　代表弁護士　山口　政幸
☎099-227-0041（受付：平日９時～17時）　鹿児島市山下町12番17号２階

藤尾法律事務所による無料法律相談

○相談日時及び会場：

会場	財部保健福祉センター	大隅弥五郎伝説の里
相談日時	毎月 第2火曜日 13:00～15:00	毎月 第3火曜日 18:00～20:00

○相談料：**無料**です。（相談者からはいただいておりません）※１回につき相談時間は30分以内
○申込・受付方法：**先着順、事前電話予約可**
弁護士法人 大隅広域ディフェンダー　藤尾法律事務所　末吉支所
☎0986-51-9830　曽於市末吉町本町1-4-5

職員募集のお知らせ　一緒に曽於市社会福祉協議会で働いてみませんか!!

社会福祉法人曽於市社会福祉協議会では、以下の職務に従事する職員を公募します。
（１）公募する職
①保健師（地域包括支援センターでの保健師業務）
②通所介護事業所生活相談員業務
（２）受験資格
①現在、曽於市内に居住する方又は採用後曽於市内に居住することができる方
②普通自動車運転免許を有する方
③保健師業務－保健師資格　生活相談員業務－介護支援専門員又は介護福祉士資格
（３）採用定数　若干名
（４）受験申込み受付期間
平成30年８月10日（金）～平成30年９月10日（月）　午前９時00分～午後５時
ただし、土曜日、日曜日、祝祭日は除きます。
（５）採用試験日　平成30年９月23日（日）　詳しいことは本所総務課までお問合せください。

保健師として入職し、３ケ月が経ちました。地域で住み良く暮らすために、地域の方々が助け合うということを実感できる職場です。是非、私たちといっしょに働いてみませんか？

戸越優貴（保健師）

たくさんの善意に感謝いたします。

本会では、この善意を市民の皆様の福祉向上のために大切に使わせていただきます。
なお、本紙への掲載につきましては、寄附者の承諾を得てご希望どおりに寄附者名簿を掲載しております。

香典返し寄附金（敬称略）（平成30年5月1日～6月30日）

財部地区

落合涼子　園田
川俣晴子　下正ヶ峯
集　孝一　七村
堀内勝一　高塚
匿名1件

末吉地区

原口サエ子　野田
今別府勇子　白毛
髙橋敦子　上町
山下育男　有持下
重水兼信　白毛
田﨑拓昭　新高松
山元収二　上町
川﨑ミサエ　六町西
赤松浩二
水流トミ子　東柿木
重留秀行　五位塚東
小田政二　橋野南
匿名1件

大隅地区

徳留一良
川辺政子　梶ヶ野
谷川正樹　大久保
福満キヨ子　平原
永田友子　東桜ヶ丘
春田儀一　西鍋
安田淳子　東旭ヶ丘
佐々木和子　持留
新川良子　東飯田
伊地知正子　東馬場
若松京子　麓
谷口サエ子　西中園

一般寄附金品（敬称略）（平成30年5月1日～6月30日）

財部地区

山城　忠　天子馬場
2,000円

末吉地区

馬塲三郎
タオル、肌着他

大隅地区

谷川正樹　大久保
5,000円

西村テル子
岩川を盛り上げよう実行委員会
匿名1件
物品寄付　匿名1件

お詫び

「手と手」第63号（P10）に掲載いたしました「一般寄附金品」の記載に誤りがございました。訂正し、心よりお詫び申し上げます。

【訂正前】
財部地区
別府ゴルフ部会　20,000円

↓

【訂正後】
大隅地区
別府ゴルフ部会　20,000円

財部地区に掲載しました「別府ゴルフ部会」様は、正しくは大隅地区です。

編集後記

毎日暑い日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
この猛暑を少しでも涼しく過ごそうと、グリーンカーテンを兼ねてプランターに植えた、我が家のキュウリやミニトマトも元気に育っています。夏野菜の収穫の時期を迎え、屋外の作業は短時間でも身体に堪えます。この時期は食欲も落ちて疲れやすくなりますので、適度な休憩とこまめな水分補給を忘れないようにしましょう。私は、丹精込めて作った夏野菜をつまみに「だれやめ」を楽しみながら、この夏を元気に乗り切りたいと思います。Y・U